

2022年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書（最終）

| 非公開希望 | 項目 | 内容 |
|----------|------|--|
| | 所 属 | 人文科学研究科 史学専攻 M2年（留学年次） M3年（帰国年次） |
| 原則 公開 | 留学先 | ※大学名、学部、学科名を記入してください。 東呉大学 交換留学生 |
| 原則 公開 | 留学期間 | ※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2022年 9月 5日 ～ 2023年 1月 8日 出国日 2022年 9月 14日 最終帰国日 2023年 1月 16日 |

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

私は大学院生での留学ということで、学部生と事情が異なるかもしれませんが、語学を鍛えることと、東呉大学ならではの授業を受けるという目的で留学しました。台湾での生活では分からないことはすぐに聞く、友人や先生方に積極的に質問や会話をしに行くことを意識しました。留学を終えた今では、全体的に度胸が身についたと思います。分からないことを分からないと言う、失敗してもいいからとりあえず話してみる、といった体当たりの精神が勉強するのに丁度良かったです。台湾の方々も、「慢慢來（ゆっくりでいいよ）」とって受け入れてくれるので、とても勉強しやすかったです。

また、分からないことをすぐにメモできる小さめのノートを常に持ち歩き、分からない中国語を採取する習慣を続けたので、そのノートがそれなりの数になったのを見ると達成感がありました。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

台湾の歴史についてももう少し深く踏み込んで勉強すればよかったと思います。友人との会話でも、日本統治時代の話がよく話題になりました。詳しくないからと言って何か言われることはないですが、もう少し勉強すればよかったです。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

コロナの影響か、オンライン対応が非常に充実していました。Tronclass というアプリや学校専用のスマホアプリがあり、web 対応もしているのでスマホやPC からパワーポイントや授業の情報をダウンロードすることができました。とても快適です。

授業は語学と専門に関係する分野を受講しました。試験内容が難しそうなものは聴講しました。先生方はとても優しく、留学前にメールを送って問い合わせたところ快く聴講を受け入れてくださいました。たまたま受講した講義に偏っていたのかもしれませんが、女性の先生が多かったです。ある先生には、研究室に呼んでいただき、昼間の空いた時間に一緒に中国語で世間話をするなど、得難い経験ができました。先生と学生の間で気軽に Line 交換ができるのも珍しいと感じました。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

東呉大学の外雙溪キャンパスは山の斜面に建てられています。階段が多く、エレベーターも数が少ないので、いつもエレベーター前に行列ができています。敷地が他大学と比べると小さいと言われていますが、これは、東呉大学の学長が「大学は大きさではなく学ぶ所だ」といった理由からあえて敷地を拡げなかったからだといえます。実際近い場所に図書館など施設が密集しているので、階段の多さに目をつむれば移動に時間はかかりません。何種類ものお店が内接している食堂のほかに 24 時間開いているセブンイレブンがあるので、とても便利でした。

また、外雙溪キャンパスの近くには、故宮博物館があり、15 分ほど歩いていける距離にあります。学生は無料です。ただこれは体験談ですが、カウンターで学生証を見せると交換留学生は対象外なのか無料にならなかったの、券売機で買うことを強くお勧めします。券売機で買う際に学生証を確認されることはありません。むしろ受付の人に券売機で買うことを推奨されました。

また、大学近くの陽明山も学生の間で有名な観光スポットで、そこへもバスで行くことができます。学校の周りにはバス停が多いので、移動手段に恵まれていると思います。士林駅にはバスに乗る以外にも 30 分ほど歩けば着くので、時々歩いて移動しました。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

とくにそのような情報はありませんでした。以前はあったようでしたが、無くなったのかもしれない。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

寮生活だったので、分からないことはとりあえず受付の人に聞きました。とても親切に教えてくれます。中国語と英語で対応してくれます。

国際センターが交換留学生用のLineグループを作ってくれ、そこに月に一度ほどの頻度で、イベントの情報が送られてきました。サイクリングや、クリスマスパーティーなどがありました。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

治安はとてもいいです。一人で行動してもとくに何も起きませんでした。ただ、学校近くの街灯はやや暗めだったので一人で歩くには少し怖いかと思います。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

留学開始時に東呉大学の日文科の学生がバディになってくれるのですが、皆さん日本語を話すのがとても上手なので、一緒に行動するときに気を抜くと日本語を話してしまいがちでした。中国語の発音の矯正や会話の練習にも付き合ってくれ、とても助かりました。韓国アイドルや日本のサブカルチャーが好きな人がほとんどで、多言語で異文化交流ができました。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

| ①留学先での履修科目名 (単位数) | ②本学で単位認定された科目名 (単位数) |
|--------------------|----------------------|
| 中国哲学概論 (3 単位) | |
| 華語聴力與口説 (一) (4 単位) | |
| 中級華語 (一) (4 単位) | |
| 国文 溪橋生班 (2 単位) | |
| 中国神話 (聴講) | |

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 (柚芳樓)

(2) 家賃

一学期 (現地通貨) 約 12000 元、(日本円) 約 60000 円

(3) 食事

外食・自炊

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩1～2分（大学構内に寮がある）

(5) 感想、良かった点・悪かった点

8人部屋(日本人3・台湾人5)だったため、出身国の違うルームメイトとの交流が盛んにできてよかったです。日本語と中国語の文章を添削しあう他、文化交流ができました。

同居人の生活リズムが違うため、目覚まし時計の音や生活音で寝づらい日が多かったです。目覚まし時計の音については話し合いで解決しました。

4. 費用について

(1) 学 費

協定留学のため無し

(2) 渡航方法と金額

飛行機：スターラックス（日本円）約 48060 円

(3) 生活費（※宿舍費を含めた金額を記入してください。）

（現地通貨）三か月 約 11 万元 、（日本円）約 48 万 円

(4) 費用の持参方法

現金のみ

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

とてもイレギュラーですが、台湾に住む知人から現金で生活費をいただいていた。

クレジットカードを持たないで留学を終えましたが、今思えば運がよかつただけだと思います。

現金が使えない場所はなかったので、そこが救いでした。

費用については他の留学生さんの情報を参考にしてください。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

食費にさせていただきました。

5. 保険について

(1) 保険会社名

東京海上日動留学生保険

(2) 保険料

33430 円

(3) 加入した保険の種類、内容

Eプラン

(4) 感想、良かった点・悪かった点

留学が急遽決まった際、申込期限が過ぎていても、電話ですぐに対応していただけて大変助かりました。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物

(2) 持って行って良かったと思う物

- ・ざぶとん（寮の椅子は木製で硬いので重宝しました）
- ・耐熱食器
- ・サンダル（お風呂場に行くときや、寮で行動するときに使います）
- ・水筒（至る所にお湯の出る給水機があるので、使う機会が多いです）
- ・プラスチックのかご（お風呂場に持っていくときに使いました）
- ・ハサミやのりなどの文房具
- ・散策用のカバンやエコバッグ
- ・日本の和紙の封筒や年賀状、カード類（日本の文化の紹介やプレゼントとして使えました）

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

全部使いました

(4) 持って行けば良かったと思う物

マグカップと南京錠とポケットティッシュを持っていけばよかったです。

柚芳樓の部屋には個別の貴重品入れはないので、机に南京錠をかけて貴重品を入れていました。

寮のお手洗いに紙はないのでティッシュを持参する必要があります。トイレに流さず、近くのごみ箱に捨てないといけないので、ポケットティッシュでもしばらくしのげると思います。台湾で日本製品を買おうとすると、ほとんど日本価格の 1.5 倍割高なので、持っていけるものは持っていきました。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

授業が終わった後は、バディや友人と遊びに行ったり、一人で街を散策したりおいしいものの探索をしていました。基本的には学校から出ているバスに乗って士林駅まで出ていました。

洗濯は、洗濯機を使うのにお金がかかる（一回 20 元）のでお風呂後に一日に使った分を手洗いして、無料の脱水機にかけて部屋干ししていました。寝ている間に乾きますし、においもありませんでした。台湾の地元民も愛用している洗濯用せっけん（肥皂）を買って使ったのですが、値段的にもお安めでかなり節約になったと思います。

（2）週末

基本的に外出して遊んでいました。ルームメイトのバディが予定をたくさん立ててくれるので、それについて行くことが多いです。冬休みには台南や宜蘭に一泊二日で旅行に行くこともありました。外出の頻度が高いので、ときどき息抜きに何もしない日もあります。

テスト期間中は、図書館で本を借りる以外にも、駅近くの古本屋で本を買って勉強していました。

8. 後輩へのアドバイス等

なにかひとつ自分ルールをつくっていくと、モチベの維持にいいかもしれません。そしてなにより健康第一です。体を壊す前に無理せず適度に休んだ方がいいです。また台湾で生活すると、深刻な野菜不足に直面すると思いますが、スーパーで野菜ジュースを買ったり、寮の食堂で野菜炒めを食べたり、スーパーでミニトマトを買って食べたりしていました。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

○衣類について

衣類について、私はほとんど台湾で売って帰国しました。帰りにお土産を多く詰めたかったので、日本では着られない服も持って行って着たあと、売るなり捨てるなりをして、トランクの容量を開けました。台湾のセカンドストリートでは、毛玉や汚れがなければ売ることができました。その際に居留証（ARC）が必要なのですが、私は停留ビザのみで ARC を持っていませんでしたので、台湾人の友人に代理で売っていただきました。一月に帰国する前に冬服をもっていくと、日本よりもいい値段で売れます。

○通販について

台湾では、「蝦皮（ショッピング）」という通販サイトが大学生の間でも非常によく使われています。私も一度利用しました。日本のスマホで蝦皮のアプリはダウンロードできなかったのですが、web 版で会員登録することができます。その際台湾での電話番号が必要です。

受取先を学校の中にあるセブンイレブンに登録し、現金支払いを選択することで、荷物が学校のセブンに届きます。郵送料はかかりますが、非常に便利でした。

○気候について

台北の冬は暖かい日の方が多いですが、ときどき「うわ寒っ」となるくらい冷える日があります。ヒートテックやニットを持って行ったのですが、もう少し暖くなるものあればよかったです。私は厚手のジャケットを買いました。台湾のセブンイレブンでも早い時期からカイロが売られていました。